

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公表番号】特表2007-530971(P2007-530971A)

【公表日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-042

【出願番号】特願2007-506111(P2007-506111)

【国際特許分類】

G 0 1 N 30/26 (2006.01)

B 0 1 D 15/08 (2006.01)

G 0 1 N 30/46 (2006.01)

G 0 1 N 30/00 (2006.01)

G 0 1 N 30/88 (2006.01)

G 0 1 N 30/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 30/26 A

B 0 1 D 15/08

G 0 1 N 30/46 A

G 0 1 N 30/00 B

G 0 1 N 30/88 2 0 1 R

G 0 1 N 30/02 B

G 0 1 N 30/88 J

G 0 1 N 30/88 2 0 1 G

G 0 1 N 30/88 1 0 1 N

G 0 1 N 30/88 2 0 1 X

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 以上のクロマトグラフ工程により液体の他の成分から 1 以上の標的化合物を分離する方法であって、前記液体を、アフィニティークロマトグラフィーマトリックス、及び / 又はイオン交換クロマトグラフィーマトリックス、及び / 又は疎水性相互作用クロマトグラフィーマトリックスと任意の順序で接触させて、前記標的化合物と前記マトリックスとの間に相互作用を生じさせ、その際に 1 以上の前記マトリックスとの前記接触を 1 以上の非イオンポリエーテルの存在下で実施すること、並びに最後のクロマトグラフ工程から別個の画分に前記標的化合物を得ることを含む方法。

【請求項 2】

2 以上の連続的イオン交換クロマトグラフィー工程を含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

アフィニティー工程とその後続くイオン交換クロマトグラフィー工程を含む請求項 1 又は請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

イオン交換クロマトグラフィー工程とその後続く疎水性相互作用クロマトグラフィー工

程を含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 のクロマトグラフィー工程が非イオンポリエーテルの存在下で実施される、請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

2 以上の工程が非イオンポリエーテルの存在下で実施される、請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

前記非イオンポリエーテルがポリ（エチレングリコール）（PEG）である、請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

前記標的化合物が抗体又は抗体化合物である、請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 9】

多孔性担体に固定化されたタンパク質リガンドからなるマトリックスを使用するアフィニティー工程を含む、請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 10】

液体の他の成分から抗体化合物を分離する方法であって、1 以上のクロマトグラフ工程を含み、1 工程で、前記液体をイオン交換クロマトグラフィーマトリックスと接触させて、非イオンポリエーテルを含む緩衝液の存在下で 200 mM 以上の NaAc に相当する伝導度で前記抗体化合物を吸着する方法。

【請求項 11】

前記非イオンポリエーテルがポリ（エチレングリコール）（PEG）である請求項 10 記載の方法。

【請求項 12】

液体の他の成分から抗体又は抗体化合物を分離する方法であって、1 以上のクロマトグラフ工程を含み、1 工程で、前記液体をイオン交換クロマトグラフィーマトリックスと接触させて、非イオンポリエーテルを含む緩衝液の存在下で前記抗体化合物を吸着し、前記イオン交換クロマトグラフィーマトリックスの前記リガンドは、デキストランエクステンダーを介して 1 以上の多孔性担体に固定化されている方法。

【請求項 13】

前記非イオンポリエーテルがポリ（エチレングリコール）（PEG）である、請求項 12 記載の方法。